



Cisco 3800 シリーズ ルータの起動

OL-5971-01-J

このマニュアルでは、Cisco 3800 シリーズ サービス統合型ルータの起動方法について説明します。



注意

適切な冷却、電磁干渉 (EMI) の低減、安全のため、カバー、すべてのモジュール、カバー プレートが取り付けられていないルータを動作しないでください。



警告

いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐに手が届く状態にしておいてください ステートメント 1019

このマニュアルで説明する内容は、次のとおりです。

- 「前提条件」 (P.15)
- 「起動手順」 (P.16)

前提条件

ルータを起動する前に、次の手順を実行していることを確認してください。

- ルータが確実に設置されていて、アースされている。手順については「[装置ラックへの Cisco 3800 シリーズ ルータの取り付け](#)」を参照してください。
- 電源コードおよびインターフェイス ケーブルが接続されている。「[Cisco 3800 シリーズ ルータへのケーブル接続](#)」を参照してください。
- 9600 bps、8 データ ビット、1 ストップ ビット、フロー制御なし、パリティなしに設定された HyperTerminal または同等の端末エミュレーション プログラムを実行している PC をコンソールポートに接続している。「[Cisco 3800 シリーズ ルータへのケーブル接続](#)」の「[コンソールまたはモデムへの接続](#)」 (P.11) を参照してください。



(注)

最初の起動の場合、コンソールを直接接続することをお勧めします。初期設定が完了したら、ルータの管理にリモート モデム接続を使用できます。

- アクセス制御のためにパスワードが選択されている。
- イーサネットおよびシリアル インターフェイスの IP アドレスが確定している。

起動手順

ルータを起動し、初期化とセルフテストが完了したことを確認するには、次の手順に従います。終了すると、ルータはソフトウェア設定の準備ができます。



(注)

起動シーケンスを表示するには、ルータを起動する前に、ルータにコンソールを接続しておく必要があります。

ステップ 1 「前提条件」(P.15) に記述されているように、PC が起動し、接続されていることを確認します。

ステップ 2 ルータの電源をオンにします。

ステップ 3 ルータ前面の SYS LED がすぐにグリーンに点滅し始め、ファンが動作します。Cisco 3825 ルータでは、SYS PWR LED がグリーンに点灯します。Cisco 3845 ルータの SYS PWR1 および SYS PWR2 LED はまだ点灯しません。

これらのイベントが発生しない場合、「Cisco 3800 シリーズ ルータのトラブルシューティング」を参照してください。表 4 に、起動シーケンス中の他の LED の動作を示します。

ステップ 4 コンソールに起動メッセージが表示されます。起動メッセージが終了すると、SYS LED がグリーンに点灯します。Cisco 3845 ルータの SYS PWR1 または SYS PWR2 LED が点灯します (取り付けられている電源によって異なります)。



注意

メッセージが停止し、SYS LED がグリーンに点灯するまでは、キーボードのキーを押さないでください。この間に押したキーは、メッセージが停止したときに最初に入力されたコマンドとして解釈されます。そのため、ルータが再起動したりすることの原因になる場合があります。メッセージが停止するまで数分かかります。



(注)

rommon 1> プロンプトが表示された場合、ルータは ROM モニタ モードで起動しています。ROM モニタについては、「Using the ROM Monitor」を参照してください。

LED 表示の確認

表 4 に記述されている LED は電源、アクティビティ、およびステータス情報を示します。LED の詳細については、「Cisco 3800 シリーズ ルータのトラブルシューティング」の「LED」(P.23) を参照してください。



(注)

Cisco 3845 ルータには 2 つの SYS PWR LED と 2 つの AUX PWR LED があります。これらの LED はルータが起動するまで点灯しません。各電源も固有の LED があり、ルータの電源がオンにされるとすぐに、通常の動作を示すグリーンに点灯します。

表 4 起動時の LED の表示

LED ラベル	カラーと状態	意味
SYS	消灯	ルータに電力が供給されていない
	グリーンに点灯	通常の動作 (起動完了)
	グリーンに点滅	起動中または ROM モニタ モード (起動直後)
	オレンジ	電力が供給されているが誤動作している
SYS PWR (Cisco 3825)	消灯	ルータに電力が供給されていない
	グリーンに点灯	通常の動作 (起動直後)
SYS PWR1 または SYS PWR2 (Cisco 3845)	消灯	ルータに電力が供給されていないか、電源が存在しないか、起動が完了していない
	グリーンに点灯	示された電源の通常の動作 (起動完了)
AUX PWR (Cisco 3825) AUX PWR1 AUX PWR2 (Cisco 3845)	消灯	IP 電話の電源がオフにされているか、存在しない、または起動が完了していない
	グリーンに点灯	通常の動作 (起動完了)
	オレンジ	電力が供給されているが誤動作している
ACT	消灯	パケット アクティビティがないか、起動が完了していない
	グリーンに点灯または点滅	いずれかの WAN または LAN ポートでパケットが送受信されているか、ルータが内部アクティビティをモニタリングしている (起動完了)
RPS (Cisco 3825)	消灯	主電源に接続されているか、起動が完了していない
	グリーンに点灯	Cisco 冗長電源システムに接続されている (起動完了)
CF	消灯	CompactFlash メモリ カードへのアクセスなし
	グリーンに点灯	CompactFlash メモリ カードにアクセス中 (CompactFlash メモリ カードの取り出し不可)
	グリーンに点滅	CompactFlash メモリ カードにアクセス中 (CompactFlash メモリ カードの取り出し不可)
GE0: Link	消灯	リンクなし
	グリーン	イーサネット ケーブルが存在し、リンクが確立されている
GE0: Speed	グリーンに点滅	点滅の頻度はポート速度を示す 1 秒に 1 回点滅 : 10 Mbps 2 秒に 1 回点滅 : 100 Mbps 3 秒に 1 回点滅 : 1000 Mbps
GE1: Link	消灯	リンクなし
	グリーン	イーサネット ケーブルが存在し、リンクが確立されている
GE1: Speed	グリーンに点滅	点滅の頻度はポート速度を示す 1 秒に 1 回点滅 : 10 Mbps 2 秒に 1 回点滅 : 100 Mbps 3 秒に 1 回点滅 : 1000 Mbps

ハードウェア構成の確認

ハードウェア機能を表示して確認するには、次のコマンドを入力します。

- **show version** : システム ハードウェアのバージョン、インストールされているソフトウェアのバージョン、コンフィギュレーション ファイルの名前およびソース、ブート イメージ、搭載されている DRAM、NVRAM (不揮発性 RAM)、およびフラッシュ メモリの容量が表示されます。
- **show diag** : インストールされているコントローラ、インターフェイス プロセッサ、およびポート アダプタに関する診断情報が表示されます。一般的な例はネットワーク モジュール、インターフェイス カード (VIC、WIC、HWIC)、および Advanced Integration Module (AIM) などです。

ルータの起動後、ソフトウェアの初期設定を開始できます。基本的な設定手順については、「[Cisco 3800 Series Software Configuration](#)」を参照してください。

日時の設定

ルータが非動作時環境条件のもとに置かれていた場合、内部リアルタイム クロック (RTC) が正しい日時を表示しないことがあります。RTC を手動で設定するには、EXEC モードで、次のいずれかの形式の **calendar set** コマンドを使用します。

calendar set hh:mm:ss day month year

calendar set hh:mm:ss month day year

シンタックスの説明

<i>hh:mm:ss</i>	時間 (24 時間表記)、分、秒での現在の時刻
<i>day</i>	月の現在の日付
<i>month</i>	現在の月 (名前)
<i>year</i>	現在の年 (省略なし)

次の例では、RTC を 2004 年 11 月 19 日の午後 1 時 32 分に設定します。

```
Router# calendar set 13:32:00 November 19 2004
```